

平成 22 年 6 月 18 日

現場から国を変える首長の会
代表 足利市長 大豆生田 実 さま

日本創新党 党首 山田 宏

(勝手ながら) 子供手当に関する要望書へのご回答

貴会の発足以来、その活動に注目させて頂いています。

私自身も首長を務めた経験から溜飲の下がる思いです。

先般、貴会から各党への「子供手当に関する質問書」を提出され、回答が寄せられたことをホームページから知りました。

勝手ながら日本創新党としてのご回答をご送付させて頂くご無礼をお許しく
ださい。また、質問事項を推察しての回答です。的外れがありましたらご容赦
ください。

質問(1)

平成 23 年度以降支給予定の子供手当については「現場からの声」を踏まえ、
ゼロベースでの見直しが必要と考えます。また、常に住民に向き合っている「現
場」こそが応病与薬の適任であります。基礎自治体にその財源の使い道を委ね
ることが肝要であると考えます。

質問(2)

住民生活に関わる国の重大事業においては、基礎自治体の首長との直接的な
協議機関が必要と考えます。

また、その代表者選出については当て職にすることなく個々の思いがある首
長の希望により参加が叶う仕組みづくりが必要であると考えます。

日本創新党は、「子供にツケをまわさない！」を合い言葉に新たな日本を創り
上げます。